



# みやがや

がっこうきょういくもくひょう  
～学校教育目標～

じぶん み みらい こ  
自分を見つめ ともに 未来をつくる子

- 【知】 ひび あ ゆた まな なか じぶん み つつめ ともに たんきゆう こ  
響き合う豊かな学びの中で 自分を見つめ ともに 探究する子
- 【徳・体】 たくましく しなやかな こころ からだ たが たいせつ  
たくましく しなやかな 心と体をもち 互いを大切に し ともに けんこうな 生き方をつくる子
- 【公・開】 ひと 人 や まち と かわり あ い な が ら まち に ほこ り を もち ともに あたら しい 価値 を つくり 出す 子

## 「子どもたちが見せる気遣い」

校長 羽山 康和

新年度がスタートして早一ヶ月が過ぎようとしています。様々な準備等に慌ただしさはもちろんありますが、笑顔や明るい笑い声の中で業務に励む職員の姿を誇りに思っています。各学級・学年の様々な授業や活動の中でも、そのような職員の姿に応えるように、子どもたちも、嬉しくなるような姿をたくさん見せてくれる4月でした。

さて、4月の入学式の話の中で、「3つの片付け忘れてしまった物（スポンジマット、大きな歯の模型、エアースクレーパー）」をどこに片付けたら良いか、1年生に相談してみました。すると、翌日から学校中を探検して、同じような物がある場所を発見しては、「〇〇にしまったらいいと思うよ。」と、知らせてくれる1年生がたくさんいました。分かったことを早く知らせようとする、明るく優しい気持ちを感じました。

来客中の校長室に「校長室を見せて欲しい。」と探検に来た子どもたちは、一瞬諦めたような表情を見せた子どももいましたが、「どうぞ。だけどお客さんがいらっしゃるから、一周だけね。」という、笑顔いっぱい部屋を一周したり、ソファに座って感触を味わったり。お客さんに挨拶する子どもの姿もありました。楽しそうな中にも、少し遠慮した雰囲気を感じました。

5月に日光修学旅行を予定している6年生は、すでに準備を始めています。その中で、私に対して次のような依頼をしてきた子どもたちがいます。「出発式で、挨拶をしてください。その挨拶は『〇〇な2日間にしよう!!』という言葉を入れてください。」というものでした。私が「とても分かりやすいお願いだから、考えやすくして嬉しいよ。」と伝えると、「急をお願いすると困らせてしまうかもしれないから。」と言うのです。何という気遣いでしょうか。

1年生から6年生まで、こんな風に人と関わり、その子らしさや年齢に応じた気遣いを見せる様子に、本当に嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

みやがや応援隊のたくさんの方々による学校支援も、毎日のようにいただいています。すれ違ったボランティアの方々にお礼を伝えると、逆に笑顔とお礼を返してくださる方々ばかりです。そういう温かい雰囲気も子どもたちは感じながら、たくさんの方々の気遣いができるようになっていくように思いました。登校時も、交差点等で見守りをしてくださる方々によって、明るく温かい挨拶で子どもたちを包んでくださり、優しい気持ちの醸成に繋がっているようです。

日常の、「明るく温かい、ちょっとした気遣いのシャワー」に包まれて、子どもたち自身も豊かな生活を送っていく力を、自ら身に付けていっているようです。これからの日常の中でも、子どもたちの「温かい気遣い」を、たくさん発見することを楽しみに・・・。

5月の爽やかな風の中、子どもたちの安心・安全な生活が送れますよう、ご家庭や地域の皆様におかれましても、「交通安全への取組や声かけ」「不審者情報があった場合は、すぐに警察に連絡」等の取組・ご協力をよろしくお願い申し上げます。また、今年度も熱中症予防の意識を高めていく時期に入っていきますので、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。